

## 「東京湾再生プロジェクト」に関する技術交流会開催される

プロジェクト対応グループリーダー幹事

古関潤一（東京大学）

標記の技術交流会が平成 16 年 10 月 19 日（火）15：00～17：00 に地盤工学会 JGS 会館で開催された。国土交通省港湾局で推進している「東京湾再生のための行動計画」について、辻広登氏・嶋原茂氏（国土交通省港湾局環境整備計画室）より下記のような話題提供をいただき、地盤工学的な課題も含めて、34 名の出席者の間で自由討議を行った。

1. 素晴らしき海とは
  - (1) 海辺の特徴
  - (2) みなとの役割
2. 港湾の課題
  - (1) 自然との共生
  - (2) これまでの取り組み
3. 港湾における自然再生
  - (1) 干潟の回復・創出
  - (2) 良好な水環境への改善
4. 東京湾再生のための行動計画



話題提供のなかでは、環境の保全に配慮した港湾法の改正（平成 12 年）、自然再生推進法の制定（平成 14 年）、国内の具体事例（各種のエコポートモデル事業、干潟・アマモ場再生事業

など)、および米国における干潟再生事例などが紹介された。

自由討議では、地盤工学の分野で貢献できること（例えば覆砂の施工と材料開発、細粒浚渫土の処理方法）、環境関連事業におけるコストパフォーマンスの考慮のしかた、地域との有効な連携方法などが議論された。交流会の終了後には懇親会も開催され、出席者の間でぎっくばらんな意見交換が行なわれた。